

松橋駅が特急列車の停車駅に



宇城市長
阿曾田 清

残暑お見舞い申し上げます。
市政をお預かりして、半年が過ぎました。皆さまのご協力と励ましを頂き、元気に頑張っております。

しかし、合併はしたものの、まだ各種組織（団体）や住民意識は旧5町のままといって過言ではありません。一日も早く融和を図り、組織を一体化し、まとまって新市づくりに取り組まねばなりません。行政と市民が同じ目線で、共に行動できるよう全力を挙げて頑張っており、ご理解とご協力をお願いいたします。

吉報でございます。

「市らしさ」そして「市の風格」として、交通ネットワークの整備は必要不可欠であります。そのネットワーク整備の一つとして、普通列車だけの停車駅であった松橋駅に、JR九州さんのご協力により、特急列車が停車することになりました。

来月（10月1日）から、人吉駅と熊本駅、大分県別府駅とを結ぶ「九州横断特急2号（上り）」が8時09分、「同5号（下り）」が18時05分に停車いたします。また、観光列車「九千房号」も日曜・祝日の運行ですが、9時31分（下り）と16時59分（上り）に停車することが決定しました。過去数十年、利便性向上のため、各方面から要望があつておりましたが、やっと実現することができました。

さらに、熊本空港と松橋駅とをつなぐシャトルバス（1日5便）も同時に開業する運びとなりました。これは九州産交(株)さんの決断によるもの

で、公共交通機関を利用して、空港まで、あるいは東京・大阪をはじめ目的地まで、短時間で移動することが可能となります。また、遠来からのお客様も空港から直接宇城市を訪れることができます。

これらは、市民の交通手段を確保し、かつ利便性を高め、ひいては市のステータスを高めることにつながると思われます。市民の皆さまの積極的なご利用をお願いします。

なお、9月18日にはこの「特急停車」と「空港シャトルバス開業」のPRを兼ねた「宇城市誕生祭」を開催いたします。当日は、皆さまご存じの八代重紀さんのご好意で、歌とトークで新生「宇城市」の門出を祝っていただくことになっております。

10月の市長談話室は10月7日（金）を予定しております。参加を希望される方は、広報統計課（☎32-1111）へ9月20日（火）までにお申し込みください。

お世話になりました 宇城市行政懇談会

宇城市では、広く市民の皆さまからの意見や要望を聞き、今後のまちづくりに反映していこうと、合併後初めての「行政懇談会」を開催しました。



8月9日にウイングまつばで開催された行政懇談会の様子

8月2日から10日にかけて5会場（旧町単位）で開催した懇談会には、延べ1,277人の参加があり、執行部からは市長、助役、収入役、教育長のほか、各部局長などが出席しました。

まず、阿曾田清市長が宇城市の財政状況や総合計画について、各部局長がそれぞれの平成17年度主要事業について説明。その後の意見交換では、市政に対する活発な意見が交わされました。

皆さまからいただいたご意見は、これからの市政に反映させていきたいと思っております。今後とも市行政にご理解とご協力をお願いいたします。

なお、会議終了後には、行政懇談会についてのアンケート調査を実施しました。集計結果は次号でお知らせする予定です。

～わが市の家計簿から②～



8月1日号のこのコーナーでは、バランスシートの分析の結果、宇城市の財政状況は極めて悪い状況にあることをお知らせしました。

今回は、監査法人から提案されました改善策についてお知らせします。

◆改善工程

改革目標の設定

- 《改革目標》
- ・将来世代の負担の軽減
 - ・多様化する住民ニーズに対応し、安定的・継続的な行政サービスを提供

目標指数の設定

- 《目標指数》
- ・総資産に対する正味資産の比率
平成15年度 50.6% ⇒ 平成26年度 60.0%
 - ・行政コストに対する収入の比率
平成15年度 89.0% ⇒ 平成26年度 100.0%
 - ・人件費総額
平成15年度 54億7,500万円 ⇒ 平成26年度 20%程度の削減

改善策の実施

- 《改善策》
- ①平成26年度にかけて人件費総額を20%程度削減する。
 - ②事務事業の見直し、施設の統廃合などにより、物件費を毎年2,500万円削減する。
 - ③扶助費の内容を見直し、毎年2,000万円削減する。
 - ④一部事務組合の効率化等により、補助費等を平成21年度までに毎年4,000万円削減する。
 - ⑤特別会計の財政健全化などにより、繰出金を毎年4,000万円削減する。
 - ⑥受益者負担の見直し、新たな財源の発掘により、毎年1,100万円ずつ歳入額を上乗せする。
 - ⑦遊休地、施設の統廃合で不要となる資産を毎年1億2,000万円ずつ売却する。

《今後検討を要する改善策》

- ①新たな資産形成を行う場合に費用対効果の検証を実施する。
- ②各施設について費用対効果の分析を実施するとともに、将来の維持管理費用を算定する。
- ③費用対効果の観点から、統廃合を含めた施設のあり方を検討する。
- ④人件費削減に向けたスケジュールの策定を行う。
- ⑤一部事務組合及び公営企業の効率化に向けた取り組みを行う。
- ⑥施策または事業ごとにコストを把握するための計算手法を確立する。

実施状況の検証

《改善策の実施が計画どおり行われているか随時検証する》

以上のような改善策の提案がなされています。

この提案を含め市役所職員のプロジェクトにより「行政改革」「財政改革」「意識改革」の3改革について、具体的な改革案を作成しました。その改革案を参考に、さまざまな分野の代表の意見を踏まえ「第1次宇城市行政改革大綱」を作成します。今後はその大綱に基づき作成する改革実施計画により改革を進めてまいります。今後とも市民の方々のご理解とご協力をお願いしまして、バランスシートから見た「わが市の家計簿」シリーズを完了します。